（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	生坂村歴史文化遺産「一星亭」周知・再生プロジェクト
事業主体 （連絡先）	生坂村 （生坂村教育委員会社会教育係）
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業、(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	740,738 円（うち支援金：555,000 円）

事 業 内 容

国登録有形文化財「一星亭」の片付けと収蔵品の仕分け行い、認知度向上及び活用方法を検討するため、見学会を開催した。

１．主屋内の片付け・収蔵品の仕分け
⑴参加者　　いくさか大好き隊、地域住民
⑵実施回数　１回　　参加人数　のべ９名
⑶実施時期　１０月１１日（金）

２．一星亭探訪ツアー（見学会）
建物や歴史的価値などを参加者が学習する
⑴参加者　　地域住民
⑵実施回数　２回　　参加人数　のべ３７名
⑶実施時期　１１月１７日（日）、１月２６日（日）

【一星亭探訪ツアー（見学会）】

【目標・ねらい】

①「一星亭」の認知度向上
②今後の活用に向け収蔵品の整理
③住民参加による活用方法の検討

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①見学会の開催にあたり、内部の片付けや収蔵品の整理が必要であったため地域住民と協働により実施することができた。

③主屋内部を見学しながら構造や歴史を学習でき、登録有形文化財として登録されて理由や意味を理解し、具体的な活用方法を検討するためのきっかけとすることができた。

※自己評価【C】

【理由】

・収蔵品の整理、片付け作業は膨大であり、今後も、引き続きの作業が必要である。

・見学会は、新規の参加者が集まらなかった。今後は募集の広報を見直す必要がある。

・講師より他自治体の活用事例を説明いただいき、今後の検討材料になった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

引き続き主屋及び土蔵内の整理・片づけを実施し、来たる一般開放可能に整える。

今後も定期的に見学会等のイベントを実施し、住民だけでなく村外にも一星亭を認知してもらえるよう努める。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある